

西東京市図書館基本計画・展望計画（平成21年度-平成30年度）中間報告以降の実施計画に基づく後期5か年の取組のまとめ

平成26年度から図書館基本計画・展望計画の中間報告以降の5年間の実施計画を作成し、取組みと事業評価を実施してきました。単年度で評価を実施しており、その現状と課題は平成30年度に策定した図書館計画（平成31年度から2023年度）でも取り上げ、策定の基になりました。改めて5年間の実施計画全体のまとめを行い、新しい図書館計画における取組み事業を推進していきます。

5年間の実施計画 【成人サービス】		取組みのまとめ
①	中央館と各地域館の規模や立地条件、利用状況に応じた特色ある資料構成と書架づくりを行います。	<p>成人サービスでは中央図書館と各地域館の規模や利用状況に応じた資料構成と書架づくりを進め、書庫だけでなく、高書架や集密書架など、開架スペースも活用しながら収集と保存を効率的に行うことを目指しました。その中で市民の課題解決への取組みや利用対象者別サービスの展開により利用しやすい図書館を目指しました。</p> <p>全体的に目標とした項目への取組みを進めましたが、保存のための書庫を確保することができず、開架書架の除架を効率的に行うことができないなど、利用に対する蔵書規模を維持しながら使いやすい書架を整備することが課題として残りました。</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝久保図書館開架書架の増設 ・利用対象者別、課題解決にあわせたコーナ設置と関連事業の開催 ・利用者参加型の講座開催とその成果物の展示 <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な除架と書庫を活用した保存 ・利用対象者別、課題解決にあわせた関連事業を継続して実施すること
	<p>【獲得目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横積み資料をなくすなど、中央図書館開架を利用しやすいよう整備します。中央図書館開架を利用しやすいよう整備します。 ・貸出しが多く、ビジネス世代の利用が見込まれるため、保谷駅前図書館開架を文庫・新書・ノベルス・ビジネス関係資料を重視した資料構成に変更します。 ・芝久保図書館開架に資料保存の役割をもたせませす。 	
②	中央・保谷駅前・芝久保・谷戸・ひばりが丘図書館書庫及び柳沢集密書架の役割を明確にし、その管理方法を確立します。	
	<p>【獲得目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央・保谷駅前・芝久保・谷戸・ひばりが丘図書館書庫及び柳沢図書館集密書架の役割を明確にし、効率的に資料を管理するしくみをつくります。 	
③	市民の課題解決を支援するサービスに取り組みます。	
	<p>【獲得目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康医療情報、法律情報など、課題解決支援に関わる資料について新規購入や買い替えを進め、新しい情報の提供に努めます。 	
④	庁内関係部署及び関係機関とも連携して利用対象者別サービスを展開します。	
	<p>【獲得目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他部門と協力しながら、ビジネスパーソン支援サービス、シニア支援サービス、青年期サービス、多文化共生サービスを実施します。 	

5年間の実施計画【レファレンスサービス】		取組みのまとめ
①	<ul style="list-style-type: none"> レファレンス資料の蓄積と、ホームページ等で新刊情報をご案内します。 書庫資料の更新と開架資料の更新を実施します。 	<p>資料の更新と効率的な保存への取組み、情報化が進む中でデジタルデータベースとのすみわけが当初考えた以上に課題となりました。</p> <p>デジタルデータベースの利活用へ向けた取組みを進めましたが、書籍による資料を中心としている現状の中で当初の目標を達成することは困難でした。</p> <p>データベース利用の普及、サービスの認知度を高めるため、申込不要のショートセミナーの実施など、模索を続けました。</p> <p>研修時間確保が困難となる中で、国立国会図書館レファレンス協同データベースを積極的に活用し、レファレンス記録の登録とその蓄積を業務に生かす取組みを進めました。</p> <p>有料、無料ともに多種多様化する各種データベースの中で、必要なデータベースの充実に取組みましたが、導入したデータベースの利用促進の取組みなどが課題として残りました。</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員向けレファレンス研修の実施 国会図書館デジタルコレクション、歴史的音源への参加とその講習会実施 オンラインデータベースの使い方講習会の実施 保存基準に基づく適正な書庫管理の実施 <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙媒体のレファレンス資料の廃刊とメディア化に対する対応と廃棄と保存の対応 オンラインデータベースの使い方講習会の継続的な実施と利用促進のための広報の充実
【獲得目標】	<ul style="list-style-type: none"> 開架室の資料を有効に活用するため、各図書館資料の更新(資料の除架・除籍、移動、購入等)を順次実施します。 	
②	<ul style="list-style-type: none"> 有料データベースを活用したレファレンス事例を公開し、その手法について、市民講座を開催します。 情報デバインド解消に向けた、利用者を対象とする利用者用検索機の検索方法についての講習会を実施します。 	
【獲得目標】	<ul style="list-style-type: none"> 利用者対象の利用者用検索機の利用方法講習会、国立国会図書館アーカイブ資料データベース閲覧講習会、有料データベース事業者等の開催について、段階的に拡大し、5年間で200回以上の実施を目標とします。 	
③	<ul style="list-style-type: none"> 「調べもののお手伝いをします」図書館レファレンスサービスの積極的な利用へのPRを行います。 「調べもののお手伝いをします」Webレファレンスサービスを実施します。 	
【獲得目標】	<ul style="list-style-type: none"> 図書館ホームページでの「レファレンスサービス」へのアクセス件数を5年後には、平成26年度末比で倍増させます。 	
④	<ul style="list-style-type: none"> 職員・嘱託員の研修機会の確保と館内研修の拡大を進めます。 外部研修で得た知識や技能について、館内研修での還元を行います。 	
【獲得目標】	<ul style="list-style-type: none"> 職員・嘱託員の研修時間について、25年度(200時間)比5%ずつの増加を目標とします。 	

5年間の実施計画【児童サービス】		取組みのまとめ
①	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語資料の原書の購入・買い替えを行い、蔵書の充実を図ります。特に、日本語資料の多言語化資料の購入や欧米以外の言語資料の購入をこころがけます。 	<p>資料については基本図書の買い替え、調べ学習への対応、読み聞かせに応じるための紙芝居や大型絵本の充実、外国語絵本の選定、ヤングアダルト世代に向けた偏りの無い資料収集に取り組めました。</p> <p>おはなし会の充実と行事全般のPRについて充実に取り組んできました。おはなし会については実施回数を増やし、同時に内容の水準を維持するためにボランティアの育成や記録の活用に取り組めました。</p> <p>絵本と子育て事業では3歳児健診時におけるフォローアップ事業を新たに始めました。</p> <p>いずれの事業においても参加者が少ない、減少傾向にある、といった点が課題となっており、PRなど、参加者を増やす工夫が更に必要と考えています。</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語資料の購入冊数の増加 ・中央図書館とひばりが丘図書館のYAコーナーのリニューアル ・おはなし会の回数、種類の増加 ・絵本と子育て事業の継続と3歳児に向けたフォローアップ事業の開始 <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語資料の収集範囲を広げ、広報の工夫による利用の促進 ・市民・関係団体、市の関係部署との連携協力を強化して取組み
【獲得目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語資料を5年間で300冊購入します。 ・所蔵する外国語資料のうち、欧米言語以外の資料が占める割合を10%とします。 	
②	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングアダルト資料についてノンフィクションの充実を図ります。平成25年度ではYA購入冊数の19%であったノンフィクション資料を、前年度比2%程度増を目安として購入をすすめます。 ・平成26年度から成人サービス担当者との選書を月に1回程度設けることによって、選書の幅を広げ、ノンフィクション資料の充実を目指します。 	
【獲得目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間でノンフィクション資料の購入目標を、YA購入冊数全体の30%とし、それを維持します。 	
③	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会の充実を図ります。 ・行事のPRについて充実を図ります。 	
【獲得目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・全館での1・2歳児向けおはなし会を実施します。 ・各館のおはなし会の現状を把握・精査して、内容の標準化を図ることにより、参加する子どもたちが、どこの図書館でも一定基準を満たした同等のサービスをうけられるようにします。 	
④	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本と子育て事業を継続して実施します。 ・絵本と子育て事業のフォローアップ事業を3歳児健診時に実施します。 	
【獲得目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本と子育て事業を継続して実施します。 ・絵本と子育て事業のフォローアップ事業を3歳児健診時に実施します。 	

5年間の実施計画【地域・行政資料サービス】		取組みのまとめ
①	地域・行政資料室は収集方針に沿って永久保存資料の原紙保存とデジタルデータ化を進め積極的な公開と情報提供に努めます。	<p>資料の保存と活用の課題に対して、電子化の推進に取り組みました。</p> <p>同時に西東京市に関する資料については、それらを西東京市以外の機関に委ねることはできないことから、印刷物を中心に可能な限り収集してきました。</p> <p>中央図書館の開架コーナーや地域・行政資料室において公開する資料を整理し、利用しやすい書架づくりに取り組みました。</p> <p>西東京市ゆかりの文化人を紹介する冊子『縁』の作成を通じて、西東京市に縁の方に関する資料の充実にも努めました。</p> <p>電子化した資料についてはデジタルデータの公開を、『縁』の取組みについては対象とした文化人の方との連携やその情報を活用した事業の発展を課題としています。</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子化内訳概数:「写真 92,000点」「新聞折込広告 49,000点」「田無・保谷市史編纂資料 7,000点」 ・図書館ホームページにおける〈デジタル西東京市〉、〈国史跡「下野谷遺跡」関連資料等の紹介〉、〈西東京市縁の方紹介〉等のコーナーから資料や情報の発信と写真画像や「電子ブック『縁』」を含めたデジタル資料の公開 <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子化を行った元資料を保存する方法とスペースの不足 ・子ども向けの講座、講演会では、小中学生への周知、参加の促進など継続実施するための工夫
	<p>【獲得目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画に位置づけられた「地域・行政資料の電子化の推進」事業を実施します。 ・図書館ホームページ「デジタル西東京市」の充実と「西東京市関係新聞記事索引」の公開を継続します。 	
②	西東京市情報を求める市民要請に答えられるよう適切な書架作りを行いコーナーの充実に努めます。	
	<p>【獲得目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館コーナーには周辺地域を含めて市民の暮らしに役立つ最新の行政資料と、郷土にゆかりのある方の著作や、歴史、民俗等西東京市を知るための郷土資料整備に努めます。 ・地域館コーナーには最新の行政資料を整備しコーナーの刷新に努めます。 ・コーナー、書庫、地域・行政資料室を併せて資料整備の拡充に努めます。 	
③	西東京市に関する情報の積極的な収集のため、市民や市内活動団体、庁内各部署、特に下野谷遺跡等文化財関連事業との連携を図るよう努めます。	
	<p>【獲得目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談、支援、調査、事業開催に努めます。 	

5年間の実施計画 【ハンディキャップ・サービス】		取組みのまとめ
①	目標800タイトルのうち、5年間で450タイトルのデジタール図書を作製したので、残りの350タイトルを作製します。	<p>デジタール図書の5年間の作製は297件でした。 国立国会図書館視覚障害者用データとしてのアップロードは333件でした。 宅配事業推進のため、宅配希望者と市民ボランティアの活用に取り組みました。宅配希望者が19人であり、ボランティアの活用により、事業を推進できました。</p> <p>デジタール図書に関してはリクエストに対応して作製することから、その件数を増やす以上に利用者要望の掘り起しやリクエストに対応するだけの作製ボランティアの確保が課題です。 宅配事業についても今後増加が見込まれる宅配希望者に対応するためのボランティアの確保が課題です。</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタール図書の作製 ・国立国会図書館視覚障害者等用データの収集及び送信サービスの登録と利用の開始 ・市民協力者(宅配ボランティア)制度の開始とボランティアによる宅配サービスの開始 <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用増加に対応できるデジタール図書作製音訳者の育成、体制強化
	【獲得目標】 今後5年間で350タイトルのデジタール図書を作製します。	
②	国立国会図書館視覚障害者等用データの収集および送信サービスに登録し、作製したデジタール図書をアップロードして、全国の図書館や点字図書館に資料の提供を行ないます。	
	【獲得目標】 デジタール図書500タイトルアップロードを目指します。	
③	宅配市民ボランティアを活用し、宅配サービスを市内全域に網羅するように整備していきます。	
	【獲得目標】 宅配希望者80名の登録を目標とします。	
④	多文化サービスの検討と事業整備を実施します。	
	【獲得目標】 多文化サービスの事業開始を目指します。	